

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道470号 能越自動車道 七尾水見道路
事業主体	北陸地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比(B/C) = 1.3 (経済的純現在価値(B-C) = 541億円、経済的内部収益率(EIRR) = 5.5%) 残事業：費用便益比(B/C) = 8.3 (経済的純現在価値(B-C) = 1,138億円、経済的内部収益率(EIRR) = 63.8%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 並行区間等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(整備なし): 1,507万人時間/年 渋滞損失削減時間: 315万人時間/年 (1,507万人時間/年 → 1,192万人時間/年)
		■ 並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	区間b(当該区間/並行区間)について: (七尾市役所~氷見市役所) 並行区間等(当該区間)の渋滞損失時間: 27万人時間/年(七尾市役所~氷見市役所) 並行区間等(当該区間)の渋滞損失削減率: 約6割削減(七尾市役所~氷見市役所)
		□ 並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる	・対象箇所: 国道160号 氷見市幸町交差点(19.7km/h) / 国道160号 七尾市川原町交差点(14.1km/h) ・七尾水見道路への交通転換効果により、国道160号の混雑が緩和され、旅行速度の向上が期待される
		■ 新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる	・対象となる駅: 新高岡駅(新幹線駅) 対象自治体: 能登地域(和倉温泉) ・能登地域(和倉温泉)~新高岡駅間のアクセス時間が約30分短縮(約103分→約73分)
		□ 拠点空港(会社管理空港、国管理空港、特定地方管理空港)、地方管理空港もしくはその他の空港・共用空港へのアクセス向上が見込まれる	
		物流効率化の支援	□ 国際拠点港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる ■ 農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる
1. 活力	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 三大都市圏の環状道路を形成する	
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
	国土・地域ネットワークの構築	□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する □ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	

		<input type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input checked="" type="checkbox"/> IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する <input checked="" type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	・アクセス向上が期待される観光地と年間観光入り込み数 和倉温泉（92.1万人）・道の駅能登食祭市場（74.1万人）・青柏祭（15.0万人） 道の駅水見（ひみ番屋街）（100万人）・高岡古城公園（88.3万人）・国宝瑞龍時（18.4万人） ・対象となる施設：水見市民病院 ・水見市民病院（第2次医療施設）への搬送時間の短縮が期待される
2. 暮らし	安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	・対象となる三次医療施設名称：公立能登総合病院・厚生連高岡病院 ・アクセス向上が見込まれる地区：七尾市大泊地区・水見市瀬浦地区 【整備効果】七尾市大泊地区～公立能登総合病院間の搬送時間が約13分短縮（約30分→約17分） 水見市瀬浦地区～厚生連高岡病院間の搬送時間が約11分短縮（約39分→約28分）
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において交通量の減少により、当該区間の安全性の向上が期待できる	・対象箇所：国道160号 水見市幸町交差点（685件/億台キロ）／国道160号 七尾市太田交差点（684件/億台キロ） ・七尾水見道路への交通転換効果により、国道160号の安全性の向上が期待される
	災害への備え	<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	・並行する国道160号が富山県・石川県の地域防災計画において、第一次緊急輸送道路への位置づけあり
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	・並行する国道160号（第一次緊急輸送道路に指定）通行止め時の代替路を形成する
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路を形成する	・並行する国道160号の事前通行規制区間 七尾市大田町～沢野町（連続雨量160mm L=2.5km）、七尾市沢野町～庵町（連続雨量160mm L=2.2km） 七尾市虫崎町～花園町（連続雨量160mm L=4.8km）、水見市中波～宇波（連続雨量160mm L=5.7km） 水見市宇波～数田（連続雨量140mm L=2.3km） ・並行する国道160号の特殊通行規制区間 七尾市庵町（越波：L=1.5km）、七尾市花園町～大泊町（越波：L=7.4km） ・並行する国道160号の通行規制区間において、災害等による通行止め時の代替路を形成する
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	・費用便益分析対象区間のCO2排出量が削減（削減量＝約11,000t-CO2/年）
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 並行区間等における自動車からのNO2排出削減率	・費用便益分析対象区間のNO2排出量が削減（削減量＝約26t-NOX/年・削減率＝約8.5%）
		<input checked="" type="checkbox"/> 並行区間等における自動車からのSPM排出削減率	・費用便益分析対象区間のSPM排出量が削減（削減量＝約1.9t-SPM/年・削減率＝約10.9%）
		<input type="checkbox"/> 並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
	その他	<input checked="" type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	・並行する国道160号における津波浸水エリアを回避する代替路が形成される ・原発30km圏内からの避難ルートが形成され、地域の安全性が向上する

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
国道470号 (能越自動車道)	七尾水見道路	L=28.1Km	高規格B	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
6,100~10,200	2	北陸地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成25年度		
単純合計	1,432億円	326億円	1,758億円
うち残事業分	109億円	123億円	232億円
基準年における 現在価値(C)	1,602億円	141億円	1,743億円
うち残事業分	105億円	51億円	155億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成25年度			
供用年	平成25年度、平成27年度			
単年便益 (初年便益)	13億円	3.7億円	2.5億円	19億円
基準年における 現在価値(B)	2,013億円	186億円	86億円	2,284億円
うち残事業分	1,165億円	92億円	36億円	1,293億円

③ 結果

費用便益比(事業全体)	1.3
経済的純現在価値(事業全体)	541億円
経済的内部収益率(事業全体)	5.5%
費用便益比(残事業)	8.3
経済的純現在価値(残事業)	1,138億円
経済的内部収益率(残事業)	63.8%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析(事業全体を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	6,100~10,200	±10%	1.2~1.5
事業費	1,432億円	±10%	1.3~1.3
事業期間	19年	±20%	—

④ 感度分析(残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	6,100~10,200	±10%	7.7~9.8
事業費	109億円	±10%	7.8~8.9
事業期間	1年	±20%	—

交通状況の変化

様式-3①

事業名: 国道470号 能越自動車道 七尾氷見道路(事業全体)

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(A)	
①新設・改築道路 [七尾氷見道路] : 28.1km	交通量 ^{※1}	[台/日]		7,300	
	走行時間 ^{※2}	[分]		25.1	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]		36.62	
②主な周辺道路 ^{※4}	A[国道 160号] : 34.6km	交通量	[台/日]	7,300	3,400
		走行時間	[分]	63.8	53.5
		走行時間費用	[億円/年]	98.27	35.99
	B[国道 159号] : 24.5km	交通量	[台/日]	14,000	12,800
		走行時間	[分]	33.3	30.5
		走行時間費用	[億円/年]	89.16	75.14
	B[国道 415号] : 15.5km	交通量	[台/日]	6,400	4,500
		走行時間	[分]	40.4	28.1
		走行時間費用	[億円/年]	59.85	30.25
	D[(主)七 尾羽咋線] : 24.9km	交通量	[台/日]	4,300	4,000
		走行時間	[分]	43.3	42.0
		走行時間費用	[億円/年]	38.04	33.89
	E[(主)金 沢田鶴浜 線] : 23.5km	交通量	[台/日]	10,900	9,900
		走行時間	[分]	61.4	46.1
		走行時間費用	[億円/年]	130.88	88.48
③その他道路合計: 646.8km	走行時間費用	[億円/年]	591.52	610.84	

			整備なし(A)	整備あり(B)	削減量 (A - B)
合計: 797.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	1,007.72	911.21	96.51

※1: 推計した所用時間と基準速度で走行した場合の所用時間との差。

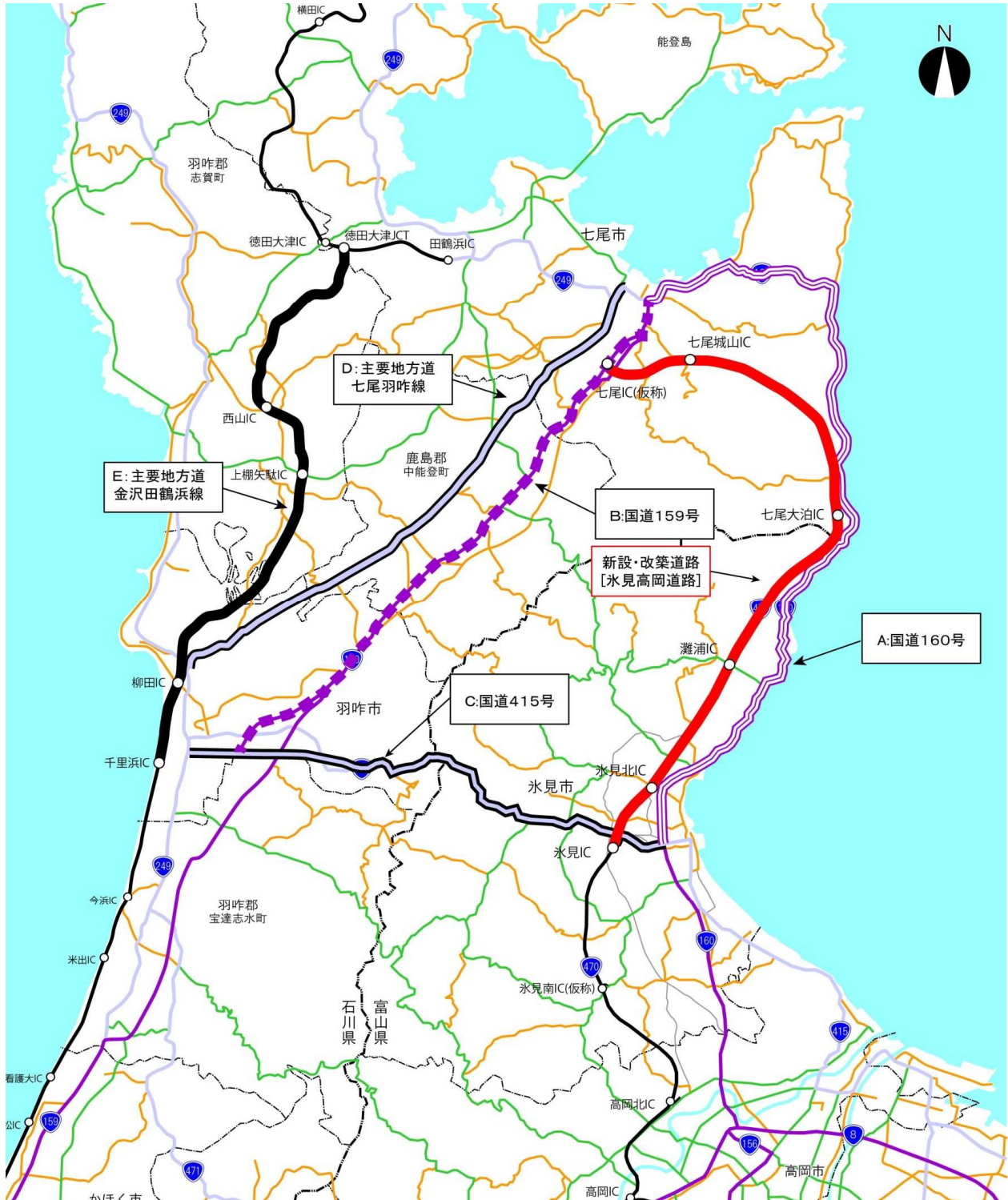
※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

事業名:国道470号 能越自動車道 七尾氷見道路(事業全体)

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

様式-3①

事業名: 国道470号 能越自動車道 七尾氷見道路(残事業)

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(A)	
①新設・改築道路 [七尾氷見道路] : 28.1km	交通量 ^{※1}	[台/日]	3,700	7,300	
	走行時間 ^{※2}	[分]	15.8	25.1	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	17.86	36.62	
②主な周辺道路 ^{※4}	A[国道 160号] : 34.6km	交通量	[台/日]	4,800	3,400
		走行時間	[分]	58.1	53.5
		走行時間費用	[億円/年]	61.02	36.02
	B[国道 159号] : 24.5km	交通量	[台/日]	13,800	12,800
		走行時間	[分]	31.8	30.5
		走行時間費用	[億円/年]	83.44	75.14
	B[国道 415号] : 15.5km	交通量	[台/日]	5,500	4,500
		走行時間	[分]	31.7	28.1
		走行時間費用	[億円/年]	40.82	30.25
	D[(主)七 尾羽咋線] : 24.9km	交通量	[台/日]	4,200	4,000
		走行時間	[分]	42.9	42.0
		走行時間費用	[億円/年]	36.76	33.89
	E[(主)金 沢田鶴浜 線] : 23.5km	交通量	[台/日]	10,800	9,900
		走行時間	[分]	59.4	46.1
		走行時間費用	[億円/年]	125.16	88.48
③その他道路合計: 646.8km	走行時間費用	[億円/年]	601.95	610.83	

			整備なし(A)	整備あり(B)	削減量 (A - B)
合計: 797.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	967.00	911.24	55.75

※1: 推計した所用時間と基準速度で走行した場合の所用時間との差。

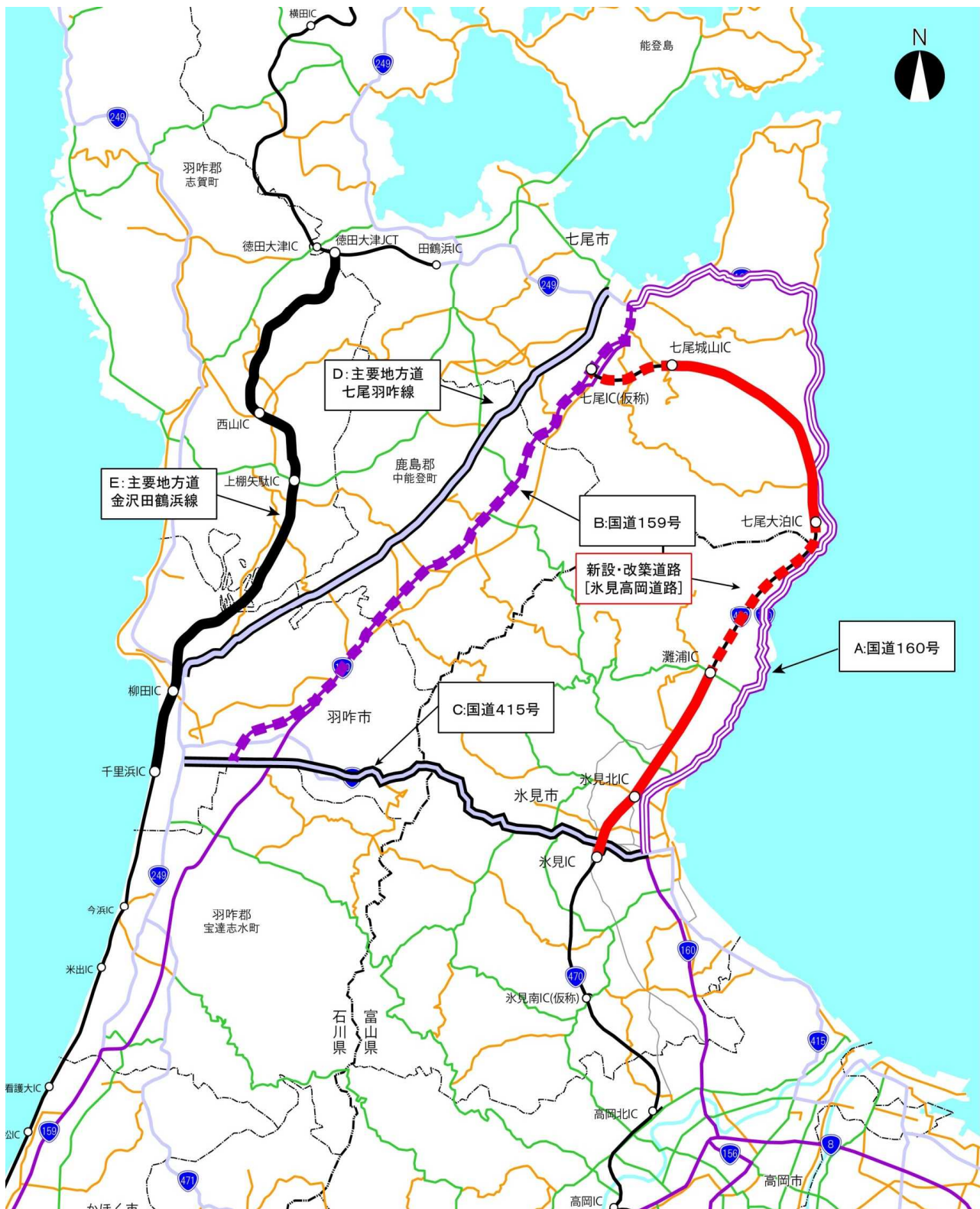
※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

事業名:国道470号 能越自動車道 七尾氷見道路(残事業)

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名： 国道470号能越自動車道 七尾氷見道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年
	社会的割引率	4%
	基準年次	H25年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input type="checkbox"/>
	複数時点での推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H17 H42)
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ推計の場合 いずれかのみ推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17年センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ 考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 各回の配分終了時の速度と現状旅行速度と比較し、最終配分速度が実態と概ね合うため。	
	その他()	<input type="checkbox"/>

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input checked="" type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 (109.3) % 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載 休日係数1.1を超える月が年間で10ヶ月ある。現道における平成24年度常観交通量データにより平日休日比を集計。			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 (0.4) 日 採用した通行止め日数の考え方を記載 過去20年間の実績を考慮	
			とり止め交通を考慮する <input type="checkbox"/> とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載 過去の実績値がないため	
	冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
考慮する		<input checked="" type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数(年あたり) (89) 日 採用した冬期日数の考え方を記載 降雪が最初に観測された日から最後に観測された日までの冬期日数(89日)及び降雪日数(28日)を考慮		
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載 通常期と冬期の速度比(降雪時19%低下、降雪時以外10%低下)を考慮		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する <input type="checkbox"/> (考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				

(4)

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 国道470号 能越自動車道 七尾氷見道路(全体事業)

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
				単価(億円)		延長(km)	
				0.25		28.1	7.03
-17年目	H 8	1.9479	109.5	1.17	1.92	0.00	0.00
-16年目	H 9	1.8730	110.4	1.90	2.97	0.00	0.00
-15年目	H 10	1.8009	109.9	6.48	9.78	0.00	0.00
-14年目	H 11	1.7317	108.4	8.76	12.89	0.00	0.00
-13年目	H 12	1.6651	107.2	7.62	10.90	0.00	0.00
-12年目	H 13	1.6010	105.7	9.77	13.63	0.00	0.00
-11年目	H 14	1.5395	103.8	18.88	25.79	0.00	0.00
-10年目	H 15	1.4802	102.3	29.87	39.81	0.00	0.00
-9年目	H 16	1.4233	101.0	28.19	36.59	0.00	0.00
-8年目	H 17	1.3686	99.6	46.39	58.71	0.00	0.00
-7年目	H 18	1.3159	98.7	115.18	141.43	0.00	0.00
-6年目	H 19	1.2653	97.6	181.43	216.63	0.00	0.00
-5年目	H 20	1.2167	96.8	183.95	212.94	0.00	0.00
-4年目	H 21	1.1699	95.6	154.32	173.92	0.00	0.00
-3年目	H 22	1.1249	93.7	127.31	140.76	0.00	0.00
-2年目	H 23	1.0816	92.1	125.81	136.08	0.00	0.00
-1年目	H 24	1.0400	92.1	194.68	202.47	0.00	0.00
供用開始年次	H 25	1.0000	92.1	81.59	81.59	2.45	2.45
1年目	H 26	0.9615	92.1	108.94	104.75	2.45	2.36
2年目	H 27	0.9246	92.1	0.00	0.00	6.69	6.19
3年目	H 28	0.8890	92.1	0.00	0.00	6.69	5.95
4年目	H 29	0.8548	92.1	0.00	0.00	6.69	5.72
5年目	H 30	0.8219	92.1	0.00	0.00	6.69	5.50
6年目	H 31	0.7903	92.1	0.00	0.00	6.69	5.29
7年目	H 32	0.7599	92.1	0.00	0.00	6.69	5.08
8年目	H 33	0.7307	92.1	0.00	0.00	6.69	4.89
9年目	H 34	0.7026	92.1	0.00	0.00	6.69	4.70
10年目	H 35	0.6756	92.1	0.00	0.00	6.69	4.52
11年目	H 36	0.6496	92.1	0.00	0.00	6.69	4.35
12年目	H 37	0.6246	92.1	0.00	0.00	6.69	4.18
13年目	H 38	0.6006	92.1	0.00	0.00	6.69	4.02
14年目	H 39	0.5775	92.1	0.00	0.00	6.69	3.86
15年目	H 40	0.5553	92.1	0.00	0.00	6.69	3.71
16年目	H 41	0.5339	92.1	0.00	0.00	6.69	3.57
17年目	H 42	0.5134	92.1	0.00	0.00	6.69	3.43
18年目	H 43	0.4936	92.1	0.00	0.00	6.69	3.30
19年目	H 44	0.4746	92.1	0.00	0.00	6.69	3.18
20年目	H 45	0.4564	92.1	0.00	0.00	6.69	3.05
21年目	H 46	0.4388	92.1	0.00	0.00	6.69	2.94
22年目	H 47	0.4220	92.1	0.00	0.00	6.69	2.82
23年目	H 48	0.4057	92.1	0.00	0.00	6.69	2.71
24年目	H 49	0.3901	92.1	0.00	0.00	6.69	2.61
25年目	H 50	0.3751	92.1	0.00	0.00	6.69	2.51
26年目	H 51	0.3607	92.1	0.00	0.00	6.69	2.41
27年目	H 52	0.3468	92.1	0.00	0.00	6.69	2.32
28年目	H 53	0.3335	92.1	0.00	0.00	6.69	2.23
29年目	H 54	0.3207	92.1	0.00	0.00	6.69	2.15
30年目	H 55	0.3083	92.1	0.00	0.00	6.69	2.06
31年目	H 56	0.2965	92.1	0.00	0.00	6.69	1.98
32年目	H 57	0.2851	92.1	0.00	0.00	6.69	1.91
33年目	H 58	0.2741	92.1	0.00	0.00	6.69	1.83
34年目	H 59	0.2636	92.1	0.00	0.00	6.69	1.76
35年目	H 60	0.2534	92.1	0.00	0.00	6.69	1.70
36年目	H 61	0.2437	92.1	0.00	0.00	6.69	1.63
37年目	H 62	0.2343	92.1	0.00	0.00	6.69	1.57
38年目	H 63	0.2253	92.1	0.00	0.00	6.69	1.51
39年目	H 64	0.2166	92.1	0.00	0.00	6.69	1.45
40年目	H 65	0.2083	92.1	0.00	0.00	6.69	1.39
41年目	H 66	0.2003	92.1	0.00	0.00	6.69	1.34
42年目	H 67	0.1926	92.1	0.00	0.00	6.69	1.29
43年目	H 68	0.1852	92.1	0.00	0.00	6.69	1.24
44年目	H 69	0.1780	92.1	0.00	0.00	6.69	1.19
45年目	H 70	0.1712	92.1	0.00	0.00	6.69	1.15
46年目	H 71	0.1646	92.1	0.00	0.00	6.69	1.10
47年目	H 72	0.1583	92.1	0.00	0.00	6.69	1.06
48年目	H 73	0.1522	92.1	0.00	0.00	6.69	1.02
49年目	H 74	0.1463	92.1	-156.11	-21.21	6.69	0.98
合計				1276.13	1602.33	326.05	141.16
単純事業費計				1432.24		326.05	

注1) 事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 国道470号 能越自動車道 七尾氷見道路(残事業)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-2年目	H 25	1.0000	92.1	0.00	0.00	0.00	0.00
-1年目	H 26	0.9615	92.1	108.94	104.75	0.00	0.00
供用開始年次	H 27	0.9246	92.1	0.00	0.00	2.45	2.27
1年目	H 28	0.8890	92.1	0.00	0.00	2.45	2.18
2年目	H 29	0.8548	92.1	0.00	0.00	2.45	2.10
3年目	H 30	0.8219	92.1	0.00	0.00	2.45	2.02
4年目	H 31	0.7903	92.1	0.00	0.00	2.45	1.94
5年目	H 32	0.7599	92.1	0.00	0.00	2.45	1.86
6年目	H 33	0.7307	92.1	0.00	0.00	2.45	1.79
7年目	H 34	0.7026	92.1	0.00	0.00	2.45	1.72
8年目	H 35	0.6756	92.1	0.00	0.00	2.45	1.66
9年目	H 36	0.6496	92.1	0.00	0.00	2.45	1.59
10年目	H 37	0.6246	92.1	0.00	0.00	2.45	1.53
11年目	H 38	0.6006	92.1	0.00	0.00	2.45	1.47
12年目	H 39	0.5775	92.1	0.00	0.00	2.45	1.42
13年目	H 40	0.5553	92.1	0.00	0.00	2.45	1.36
14年目	H 41	0.5339	92.1	0.00	0.00	2.45	1.31
15年目	H 42	0.5134	92.1	0.00	0.00	2.45	1.26
16年目	H 43	0.4936	92.1	0.00	0.00	2.45	1.21
17年目	H 44	0.4746	92.1	0.00	0.00	2.45	1.16
18年目	H 45	0.4564	92.1	0.00	0.00	2.45	1.12
19年目	H 46	0.4388	92.1	0.00	0.00	2.45	1.08
20年目	H 47	0.4220	92.1	0.00	0.00	2.45	1.03
21年目	H 48	0.4057	92.1	0.00	0.00	2.45	0.99
22年目	H 49	0.3901	92.1	0.00	0.00	2.45	0.96
23年目	H 50	0.3751	92.1	0.00	0.00	2.45	0.92
24年目	H 51	0.3607	92.1	0.00	0.00	2.45	0.88
25年目	H 52	0.3468	92.1	0.00	0.00	2.45	0.85
26年目	H 53	0.3335	92.1	0.00	0.00	2.45	0.82
27年目	H 54	0.3207	92.1	0.00	0.00	2.45	0.79
28年目	H 55	0.3083	92.1	0.00	0.00	2.45	0.76
29年目	H 56	0.2965	92.1	0.00	0.00	2.45	0.73
30年目	H 57	0.2851	92.1	0.00	0.00	2.45	0.70
31年目	H 58	0.2741	92.1	0.00	0.00	2.45	0.67
32年目	H 59	0.2636	92.1	0.00	0.00	2.45	0.65
33年目	H 60	0.2534	92.1	0.00	0.00	2.45	0.62
34年目	H 61	0.2437	92.1	0.00	0.00	2.45	0.60
35年目	H 62	0.2343	92.1	0.00	0.00	2.45	0.57
36年目	H 63	0.2253	92.1	0.00	0.00	2.45	0.55
37年目	H 64	0.2166	92.1	0.00	0.00	2.45	0.53
38年目	H 65	0.2083	92.1	0.00	0.00	2.45	0.51
39年目	H 66	0.2003	92.1	0.00	0.00	2.45	0.49
40年目	H 67	0.1926	92.1	0.00	0.00	2.45	0.47
41年目	H 68	0.1852	92.1	0.00	0.00	2.45	0.45
42年目	H 69	0.1780	92.1	0.00	0.00	2.45	0.44
43年目	H 70	0.1712	92.1	0.00	0.00	2.45	0.42
44年目	H 71	0.1646	92.1	0.00	0.00	2.45	0.40
45年目	H 72	0.1583	92.1	0.00	0.00	2.45	0.39
46年目	H 73	0.1522	92.1	0.00	0.00	2.45	0.37
47年目	H 74	0.1463	92.1	0.00	0.00	2.45	0.36
48年目	H 75	0.1407	92.1	0.00	0.00	2.45	0.35
49年目	H 76	0.1353	92.1	0.00	0.00	2.45	0.33
合計				108.94	104.75	122.62	50.66
単純事業費計				108.94		122.62	

注1) 事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表(残事業)

箇所名：国道470号 能越自動車道 七尾水見道路(残事業)

Table with columns for Year, Mileage, Rate, GDP Deflator, Benefit Type (乗用車, 小型貨物, 普通貨物), Benefit Amount, and Total Benefit (便益合計, 現在価値). Rows range from 1992 to 2049.

様式記入上の留意点

1. 再評価の場合、事業全体分、残事業分それぞれ作成する。